

初の鉄幹全集にして、
晶子全集の決定版、
本文篇完結！

勉誠出版

鉄幹 晶子 全集

Tekkan Akiko
complete works



編集：代表 逸見久美
市川千尋・川崎キヌ子・田口佳子
協力：久保田るり子・坂谷貞子・池田美愛・
殷静如・鶴丸典子・松森早智

本文篇
各句索引
全三十一卷
完結

A5判上製カバー装・各巻約500頁 定価：各巻本体6000円＋税（分売可）

近代日本文学史上、永遠に名をとどめた
与謝野鉄幹、晶子の全作品を網羅している。
ふたりの文業と生涯のすべてがわかる。
近代の詩・短歌・評論・古典現代語訳など
公共図書館、研究機関に必須の全集。
日本初の夫婦全集、本文篇、各句索引、近々完結！

Tekkan Akiko
complete works

鉄幹 晶子 全集 本文篇 全31巻 セット価格 186,000円＋税		大正期篇 I 9～16 セット価格 48,000円＋税		20 火の鳥／晶子歌話 女人創造 ISBN978-4-585-01073-9 C0392	
明治期篇 1～8 セット価格 48,000円＋税		9 明るみへ 夏より秋へ ISBN978-4-585-01062-3 C0392		21 太陽と薔薇／人間礼拝 草の夢 ISBN978-4-585-01074-6 C0392	
1 東西南北／天地玄黄 鉄幹子 ISBN978-4-585-01054-8 C0392		10 巴里より 八つの夜 ISBN978-4-585-01063-0 C0392		22 愛の創作／流星の道 瑠璃光／砂に書く ISBN978-4-585-01075-3 C0392	
2 紫／みだれ髪 新派和歌大要／うもれ木 ISBN978-4-585-01055-5 C0392		11 新訳栄華物語上巻 新訳栄華物語中巻・前半 ISBN978-4-585-01064-7 C0392		昭和期篇 23～31 セット価格 54,000円＋税	
3 小扇／毒草／恋衣 舞姫／夢之華 ISBN978-4-585-01056-2 C0392		12 新訳栄華物語中巻・後半 新訳栄華物語下巻 ISBN978-4-585-01065-4 C0392		23 心の遠景／光る雲 霧島の歌 ISBN978-4-585-01076-0 C0392	
4 常夏／佐保姫／相聞 女子のふみ ISBN978-4-585-01057-9 C0392		13 リラの花 和泉式部歌集 ISBN978-4-585-01066-1 C0392		24 女子作文新講巻一／女子作文 新講巻二／女子作文新講巻三 ISBN978-4-585-01077-7 C0392	
5 櫛之葉／少年少女 春泥集 ISBN978-4-585-01058-6 C0392		14 さくら草／雑記帳 鶴と雨／うねうね川 ISBN978-4-585-01067-8 C0392		25 女子作文新講巻四／女子作文 新講参考／女子作文新講上級 ISBN978-4-585-01078-4 C0392	
6 一隅より／青海波 雲のいろいろ ISBN978-4-585-01059-3 C0392		15 歌の作りやう／朱葉集 短歌三百講 ISBN978-4-585-01068-5 C0392		26 満蒙遊記 街頭に送る ISBN978-4-585-01079-1 C0392	
7 新訳源氏物語上巻 新訳源氏物語中巻 ISBN978-4-585-01060-9 C0392		16 人及び女として・舞ごころも 新訳紫式部日記・新訳和泉式部日記 ISBN978-4-585-01069-2 C0392		27 優勝者となれ 平家朝臣『蜻蛉日記』 女流日記 ISBN978-4-585-01080-7 C0392	
8 新訳源氏物語下巻の一 新訳源氏物語下巻の二 ISBN978-4-585-01061-6 C0392		大正期篇 II 17～22 セット価格 36,000円＋税		28 新新訳源氏物語第一巻 新新訳源氏物語第二巻 ISBN978-4-585-01081-4 C0392	
32 全歌集の各句索引篇 ISBN978-4-585-0		17 新訳徒然草／我等何を求む るか／晶子新集 ISBN978-4-585-01070-8 C0392		29 新新訳源氏物語第三巻 新新訳源氏物語第四巻 ISBN978-4-585-01082-1 C0392	
各巻本体6,000円＋税（予定）		18 愛、理性及び勇氣 若き友へ ISBN978-4-585-01071-5 C0392		30 新新訳源氏物語第五巻 新新訳源氏物語第六巻 ISBN978-4-585-01083-8 C0392	
お名前 ふりがな（ ）		ご住所		31 与謝野寛遺稿歌集 白桜集 ISBN978-4-585-0	
お電話番号（ ）		書店帳合印		*書店または書局次第お客様にご連絡ください	

勉誠出版 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-20-6 website・http://www.bensey.co.jp
Tel・03-5215-9021 Fax・03-5215-9025 E-Mail・book@bensey.co.jp

※ご記入いただいた個人情報は、ご注文書籍の発送、お支払い確認などの連絡および、ご希望いただいた方への刊行案内をお送りするために利用し、その目的以外での利用は致しません。
※追加のパフレットをご希望の方はご一報下さい。

本文は初版本に従い、読みやすさを
考慮して漢字を適宜あらためた。

満蒙の歌	50 しら玉と名づくる塔に齎けるもしら玉ならず尖る砲彈 諸友と星が浦に会すること両度なり。	50 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同
51 星が浦海のあかりのほのかにも並木と砂にありて夜となる	51 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同 し(4)並木と砂に(添書)諸友と星が浦にて	
52 星が浦銀の器のはこばれし夜食の卓にひびく浪音	52 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同 添書 63まで51と同じ	
53 旅にして語れば好しや星が浦ホテルの宵のうら寒きにも	53 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同	
54 ホテルのみ白く浮びて星が浦をぐらき方に夕浪の鳴る	54 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同	
55 しばらくは旅を忘れて美しくし星が浦の砂を踏むかな	55 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同 (5)沙を踏むかな	
56 黄海のほとり我が来て立つ磯に青き斑を置ける若草	56 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同	
57 遠く来て我が思ふこと静かなりあけはの浜たそがれの浜	57 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同	
58 蒙古より狗のごとくに吠ゆる風岬にありて暗き磯かな	58 満蒙遊草 昭和二年五月六月初版同	

本文(歌集、原寸大粗見本)

全歌に歌番号を付し、
索引との対応を容易にした。

詳細な初出、校異情報を付した。

編集方針

- 一. 与謝野鉄幹(寛)・晶子の単行本になった著作を中心に刊行年順に収録した。
- 二. 底本には原則として各作品の初版本を使用した。
- 三. 本文は底本通りとするが、漢字は適宜改めた。
- 四. 短歌・詩には詳細な校異を付し、散文には初出の所在を示した。
- 五. 各巻末には解題を付した。
- 六. 全歌集の五句索引を施した。

夫婦が築いた文学と人生の軌跡

編集代表 逸見久美

『みだれ髪』出版百年に当たる二〇一一年から刊行し始め、やっと本文篇が終った。この全集は鉄幹の作品から始まり、晶子との恋愛、結婚、そして「明星」発展に寄与し、多くの作品を共に築きあげてきた二人の全作品を網羅している。全ての作品は合著も含めて、明治期の作品数は鉄幹九冊、晶子十五冊、大正期は鉄幹四冊、晶子十三冊、鉄幹は「鴉と雨」(天四)で単独の著作は終わる。昭和期は寛三冊、晶子十九冊である。このように晶子の著作は圧倒的に多いが、拾遺篇では鉄幹の作品はかなり多い。二人の自伝的、ロマン的、写実的な小説や古典作品、時局に関する評論、詩や歌などなど、これまで知られていなかった鉄幹の一面が興味深く理解できる。前記の『鴉と雨』は自費出版であり、その巻末に「巴里に行つて自分は新生の喜びを知つた。自分は次いで巴里雑詠一卷を出さずであらう」と自ら予定していたが出版されなかった。晶子以上の実力がありながら晶子のような

多作の人になれなかったのは、鉄幹に対する誤解や嫉妬も多かったからであろう。しかし晶子の多作の蔭には、生活のために鉄幹のどれ程の協力が成されたか、時には代筆に近いものがあつたであろうことが、全集を通して痛感された。特に古典に関して夫婦合作と思われる節もあった。才能に恵まれた夫婦の全作品が年代毎に網羅されたこの全集によって二人が築いた文学と人生の軌跡を辿ることができるのである。生前中も死後も鉄幹に対して、はしたない風評が飛び交つていたが、この全集によって鉄幹の生き方、文学に対する真摯な姿勢が正確に把握でき、夫婦の多面的なあり方を見直すことができる。刊行以来九年を経て、前途遠慮と思つていた全集の本文が近く完結、もうひと息。そのあと拾遺篇に向かうところまで来た。如何なることがあつてもやり抜くという編集の委員や協力たちの気力と意気込みと共に、この全集の完結を願つて止まない。

鉄幹 晶子 全集

各巻内容

明治期篇

大正期篇Ⅰ

- 1 東西南北 (鉄幹 詩歌集)
天地玄黄 (鉄幹 詩歌集)
鉄幹子 (鉄幹 詩歌文集)
- 2 紫 (鉄幹 詩歌集)
みだれ髪 (晶子 歌集)
新派和歌大要 (鉄幹 詩歌文集)
うもれ木 (鉄幹 詩歌文集)
- 3 小扇 (晶子 歌集)
毒草 (鉄幹・晶子 詩歌文集)
恋衣 (登美子・雅子・晶子 詩歌集)
舞姫 (晶子 歌集)
夢之華 (晶子 歌集)
- 4 常夏 (晶子 歌集)
佐保姫 (晶子 歌集)
相聞 (寛 歌集)
女子のふみ (晶子 書簡手引書)
- 5 櫛之葉 (寛 詩歌集)
おとし少年少女 (晶子 童話)
春泥集 (晶子 歌集)
- 6 一隅より (晶子 評論集)
青海波 (晶子 歌集)
雲のいろいろ (晶子 短編小説集)
- 7 新訳源氏物語 上巻 (晶子 現代語訳)
新訳源氏物語 中巻 (晶子 現代語訳)
- 8 新訳源氏物語 下巻の一 (晶子 現代語訳)
新訳源氏物語 下巻の二 (晶子 現代語訳)

- 9 明るみへ (晶子 長編小説)
夏より秋へ (晶子 詩歌集)
- 10 巴里より (寛・晶子 紀行文集)
八つの夜 (晶子 童話)
- 11 新訳栄華物語 上巻 (晶子 現代語訳)
新訳栄華物語 中巻・前半 (晶子 現代語訳)
新訳栄華物語 中巻・後半 (晶子 現代語訳)
新訳栄華物語 下巻 (晶子 現代語訳)
- 12 新訳栄華物語 中巻・後半 (晶子 現代語訳)
新訳栄華物語 下巻 (晶子 現代語訳)
- 13 リラの花 (寛 訳詩集)
和泉式部歌集 (寛・晶子 現代語訳)
- 14 さくら草 (晶子 詩歌集)
雑記帳 (晶子 評論集)
鴉と雨 (寛 詩歌集)
うねうね川 (晶子 童話)
- 15 歌の作りやう (晶子 歌評論)
朱葉集 (晶子 歌集)
短歌三百講 (晶子 自歌評釈)
- 16 人及び女として (晶子 評論集)
舞ころも (晶子 詩歌集)
新訳紫式部日記 (晶子 現代語訳)
新訳和泉式部日記 (晶子 現代語訳)
- 17 新訳徒然草 (晶子 現代語訳)
我等何を求むるか (晶子 評論集)
晶子新集 (晶子 歌集)
- 18 愛、理性及び勇氣 (晶子 評論集)
若き友へ (晶子 評論集)
- 19 心頭雑草 (晶子 評論集)
行つて参ります (晶子 童話)
激動の中を行く (晶子 評論集)
- 20 火の鳥 (晶子 歌集)
晶子歌話 (晶子 歌評論)
女人創造 (晶子 評論集)
- 21 太陽と薔薇 (晶子 歌集)
人間礼拝 (晶子 評論集)
草の夢 (晶子 歌集)
- 22 愛の創作 (晶子 評論集)
流星の道 (晶子 歌集)
瑠璃光 (晶子 歌集)
砂に書く (晶子 評論集)

大正期篇Ⅱ

- 23 心の遠景 (晶子 歌集)
光る雲 (晶子 評論集)
霧島の歌 (寛・晶子 歌集)
- 24 女子作文新講 卷一 (晶子 作文指導書)
女子作文新講 卷二 (晶子 作文指導書)
女子作文新講 卷三 (晶子 作文指導書)
- 25 女子作文新講 卷四 (晶子 作文指導書)
女子作文新講 参考 (晶子 作文指導書)
女子作文新講 上級 (晶子 作文指導書)
- 26 満蒙遊記 (寛・晶子 詩歌文集)
街頭に送る (晶子 評論集)
- 27 纏髻者となれ (晶子 評論集)
「蜻蛉日記」 (晶子 現代語訳)
- 28 新訳源氏物語 第一巻 (晶子 現代語訳)
新訳源氏物語 第二巻 (晶子 現代語訳)
- 29 新訳源氏物語 第三巻 (晶子 現代語訳)
新訳源氏物語 第四巻 (晶子 現代語訳)
- 30 新訳源氏物語 第五巻 (晶子 現代語訳)
新訳源氏物語 第六巻 (晶子 現代語訳)
- 31 与謝野寛遺稿歌集 (寛 歌集)
白桜集 (晶子 歌集)
- 32 歌の各句索引篇

本邦初の〈夫婦全集〉

与謝野鉄幹(寛)と晶子の創作活動は、別々に鑑賞、研究したのでは正しく見えてこない。たがいに影響し合いつついた作品群の全貌を把握するために、編年体にした初めての「夫婦の全集」である。

初めての『与謝野鉄幹全集』

寛の全集はこれまで「与謝野寛短歌全集」しかなかった。この全集は鉄幹(寛)の漢詩から始まり、二人の作品を網羅している。拾遺篇も含めて寛の全作品を収録した本全集は、かつて知られていなかった寛の全貌をはじめて示すもの。今後の研究に貢献し得ると言えよう。

決定的な『与謝野晶子全集』

旧来の晶子全集では、共著の作品は晶子の作品のみの掲載であった。また原本が詩歌集であっても詩と歌を分けてまとめていた。しかし本全集はあくまで原本をそのまま生かした。

かつての全集の未収録作品掲載

晶子の古典現代語訳作品をすべて収録。すでに遺稿集として知られている晶子の「白桜集」に加えて「与謝野寛遺稿歌集」も第三十一巻に入れた。また容易に見られなかった晶子の「女子作文新講」も収めた。なお「満蒙遊記」には旧満洲の当時の写真四十八葉も入れた。

詳細を究める歌の各句索引

「歌の各句索引篇」とは、二人の全歌の第一句から第五句までの各句の索引のことである。二人の歌集以外の例えば山川登美子、増田雅子との共著「恋衣」などの歌の各句索引もつけた。本索引によって、はじめて寛と晶子の全歌集、共著歌集の歌について理解が深まる。

拾遺篇を予定

「拾遺篇」はすでに刊行してきた単行本に洩れた作品群のことである。これらをジャンル別に年代順に並べる。短歌、詩(漢詩を含む)、散文(小説、評論、随想、童話、古典)全歌の各句索引を掲載。

※索引篇・拾遺篇・補遺篇・書誌・年譜を刊行予定
※各巻定価六三〇〇円(本体六〇〇〇円+税) 予定、分売可。
※定価は変更になる場合もあります。



ああとうとよ、君を泣く
君死にたまふことなけれ、
末に生まれし君なれば
親のなさはまさりしも
人を殺せとをしへしや、
人を殺して死ねよとて、
二十四までをそだてしや。
君死にたまふことなけれ、
すめらみことは、戦ひに
おほみづからは出でまされ
かたみに人の血を流し、
獣の道に死ねよとは、
死ぬるを人のほまれとは、
大みこ、ろの深けれは
もとよりいかで思されむ。(晶子)

昭和期篇



Tekkan Akiko complete works

妻をめぐらば才たけて
顔うるはしくなげある
友をえらば書を読んで
六分の快気四分の熱
恋のいのちをたづぬれば
名を惜むかなとこゆゑ
友のなさをたづぬれば
義のあるところ火をも踏む(鉄幹)